

## 編集後記

巳年が巡ってまいりました。辰や午に比べ、ややインパクトに欠けているのか、メディアで語られることは少ないように感じます。へビのように執念深いという表現もありますが、手も足も出ないながらも目的に向かってひたすら蛇行する「生きる力」の強さを見習いたいところです。

2011年3月11日の東日本大震災という大きな自然災害と、東京電力の原子力発電所事故による被害は、今なお私たちに安全な生活とはなにかを問いかけています。一方で、喉元過ぎれば熱さを忘れがちであるのも事実です。

現在の社会状況の中で、各学会が継続的に災害と我々の生活について発信することの意義は、今後ますます大きくなると思われます。3月に神戸で行われます本部会の公開講座においても、災害と被服が大きく取り上げられます。

32号も生活に密着した内容に多彩にアプローチした一冊となりました。この部会誌が一層多くの方の目にとまることを願っております。ご投稿くださいました皆さまに心より御礼申し上げます。今後とも部会誌の発展にご協力賜りますようお願い申し上げます。

(平成25年1月 野上遊夏)

### 被服衛生学 第32号

2013年(平成25年)1月15日発行

発行者 (一社)日本家政学会被服衛生学部会

URL:<http://www.hifukueisei.jp/>

代表 成瀬正春

事務局 (庶務:三野たまき)

〒380-8544 長野市西長野 6-口

信州大学

事務局 (会計:内田幸子)

〒370-0033 高崎市中大類町37-1

高崎健康福祉大学

印刷所 昭和堂

〒849-0921 佐賀市高木瀬西 3-9-1

電話 0952-33-1221